

CONTACT

本誌は、横浜市立大学と地域の皆様とを「もっとつなげる」交流の拠点となることを目指して発行しています。

学生はどんなふうにお過ごししているの？そんなことが「読んで楽しく」伝わるように。思いを込めて有志の学生ライターが制作しています。

CONTENTS

・密着！横市生

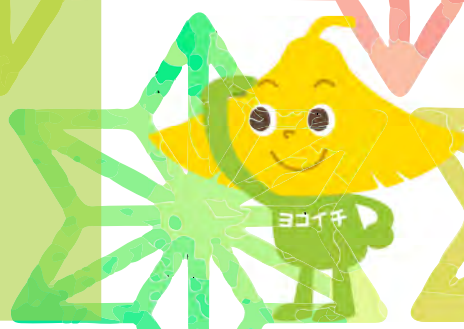
もしもあなたが横市生だったら…?!

・ヨコイチ生が叫ぶ

休日の愛よ、届け♡!!!

・ヨコイチのなぞはまだなぞなのだ

・これから、大学で学ぼう 他



密着!横浜市 もしもあなたが横浜市だったら…?!

平日編

写真=イメージ画像

————もしもあなたが横浜市だったら、1日をどう過ごしますか??
大学の講義?バイトざんまい?行ったことのない場所に旅行?ひたすら寝る?とにかく動画?
などなど、なにかと自由時間が多いイメージのある大学生。

私も入学するまではそう思っていました(>_<)

でも、大学生って意外と忙しい??!!思っていたのとちが————う!!

今日は大学生の1日の過ごし方をご紹介します!イメージ通りだったり、イメージとは違っていたり
ぜひ、「自分が横浜市だったらこう過ごすかな~??!」を想像して、ときには懐かしさ、ときには驚き
を受け取っていただけたらうれしいです♪



6:00 起床

大学生なのに(だから?)早起きの洗礼!
実家暮らしは通学の時間がかかるため
一人暮らしは家事をするため早起き必須!
眠たい目をこすりながらいざ、
十人十色の1日のスタート!

ゆとりを大切にする平日



Start

6:30 朝の支度~通学

今日は朝食や洗濯に加えて少し掃除も。
「自分よ、えらいぞ!」なんて自己肯定感高めで
モチベをUP!
通学中はとにかく外の景色に見とれます。
京急線ならではのスピード感あふれる特急は
電車とすれ違う時も迫力満点!
横浜から乗ればランドマークタワーも見れ
ちゃいます。

DOKI DOKI



とことん頭を働かせる平日

LOOK!



7:00 大学へ出発

通学中は読書!!
『世界の歴史15 ファシズムと第二次大戦』
編著・村瀬興雄、中公文庫
授業の課題になっている本を読み直し!
朝の時間を活かして授業に備えます。

8:50 1限スタート

【Espanol】
A mi me gusta Espanol!

10:30 2限スタート

【文化人類学】
他者を鏡に自分を見つめ直します。

12:50 3限が空きコマ

~音楽を聴きたい自分VS次の授業の資料
を読み直したい自分。
音楽で気分を上げたいけれども、それじゃ
集中できない(>_<)
結局この日は資料を読み直して思考を
フル回転。音楽はあとでのお楽しみに(-3-)

12:00 至福の時間ランチタイム♡
学食?お弁当?コンビニ?迷いながらも
今日はお家で作ったお弁当を、横浜市で
いちばん眺めの良いYCUスクエアで。
青空の下でピクニック気分!

TASTY



Check

12:50 3限スタート
【経営管理論】
マネジメントについて歴史など
幅広い視野から踏み込んで学べる
興味深い授業です!!



14:30 4限は空きコマ
～学情で本との出会い or コミュニケーションアワー
市民の皆さんも利用できる学術情報センター
略して「学情」
新着図書や講義関連図書だけでなく就活やジェンダー
一人暮らしなど、その時々テーマの展示があるので
通いたくなくなってしまう場所のひとつです♪
また、PEセンターという場所では英語の先生とお話し
できるコミュニケーションアワーがあります。
英語を上達させたい人、気軽にコミュニケーションを
楽しみたい人、さまざまな人と交流できます♪
Let's speak English together～

10:30 大学に到着 ～泳ぎを見ながら優雅に勉強
体育館の地下にある温水プール。
水泳部の方が練習場所として使っています。
実はその様子を眺めながら勉強ができるスペースが
あるのです。
空きコマなどの時間にそこで過ごす、一生懸命
泳ぎの練習をしている姿に刺激されてすごく作業
がはかどります。
水泳を見ながら勉強できるというのも大学生ならではの
体験な気が?! やる気が出ないという方は是非
一度やってみてはいかがでしょうか?



14:30 4限スタート【ゼミ】
輪読が中心のゼミに所属しています。
その場でしかできない議論のため
90分間考えることはやめません。

20:00 帰宅して寝る準備に
毎日のストレッチは欠かせません。
そして、寝る前の至福の時間、読書!!!!
『メメントモリ』作・ヨシタケシンスケ、KADOKAWA
これを読んで寝ると素敵な夢が見られるかも!?
紙の質感に癒されながら、ヨシタケシンスケさん
の世界観に浸ります。
優しい絵と飾らない文章に癒され、心地よい
眠りにつけそうです…ZZZ



16:00 5限スタート【医療経営論】
17:40 授業が終わり、帰路へ
今日はお友達と夜ご飯を食べに
行くことに♪



17:30 帰宅
帰り道で友人とおしゃべりをして
ゼミで疲れ切った頭を整理。
お家に着いてもあと少ししかない
今日を楽しむために手を止めません。



23:00 就寝
ふう。今日も自分色の大切な1日だったな～
自分、おつかれさま!!
「大学生は自由」なんていうイメージも
ありますが、イメージ通りとは限らない
学生生活。
それでも楽しくて愛おしい日々がある
から毎日頑張れちゃう。
明日も十人十色の学生生活が彩られて
いると考えるとなんだかEmo i de zzz.

21:00
1週間待ちに待ったドラマ鑑賞
用事を済ませて至福の時間。
今日はたくさん頭を働かせたけど
もう少し!!
ドはまり中のドラマに感動して
笑って行方を考察します。



HAVE A NICE DAY

☑ 9:00

今日は好きなアイドルを応援しに遠出する日。
早起きして9時に出発!
P.S.市大は横浜アリーナなどの大きなライブ会場にも
比較的行きやすく、地方出身のライターにとって立地
の良さも入学の決め手の一つでした♡



推しをとことん推すアクティブな日

☑ 19:00

ヘトヘトになりながらお家へ帰ります。この家路
はいつも、疲労と幸福感、ギリギリで後者が勝つ
くらい…。けれど記憶はどんどん薄れていってしまう!
私は帰りの電車で感想をメモ書きするのを
習慣にしています。後から見返して恥ずかしくても、
楽しい気持ちは保存しておきたいものです。



☑ 12:00

長時間電車で揺られ…会場に到着。しかし安心
はできません。グッズ購入にチケット譲渡、
やることが沢山でタイムスケジュールも
キツキツ!趣味活動をやるにはお金と体力
が不可欠ですね。



<<お財布事情>>

推し活って結構お金がかかります。

この1日の出費はこんな感じ→

決して安くはない値段。推し活も楽しくてかけがえの
ないものだけれど、本や映画、散歩など新しいワクワク
を探してみるのもいいかもしれませんね。

当記事で素敵な本の紹介をしているので要チェック!



ヨコイチ生が叫ぶ 休日への愛よ、届け♡!



やっとやってきた丸一日のお休み。

課題もバイトもない快適な一日!

はたまた、やることはあるけど…バートとストレスを発散したい日
寝る前はTo Doリストが頭の中で思い浮かぶけれど、いざその日が
来たらダラダラと過ごしてしまい自己嫌悪…。

やっぱり貴重な休日は少し特別な一日にしたいかも…(>_<)
そんな風に感じているそこのあなた!市大生のとことん自分もみんなも
愛しちゃう休日プランを、のぞいていきませんか?

☑ 料理にはこだわりというスパイス♪

今日は時間がたっぷりあるので手の
込んだカボチャグラタンを作ってみます~
まずはコンソメ、牛乳、カボチャでカボチャ
スープを作ります。

作ったスープをグラタン皿に入れ、チーズを
好きなだけ~

チーズに焼き目がついたら完成です!

☑ 長編ミステリーにたっぷり浸る

『なぜ、エヴァンズに頼まなかったのか?』

作・アガサ・クリスティー

時間があるので長編ミステリーを読みます!

ドキドキする展開に翻弄されながら、長めの
読書タイムをエンジョイ!

家でのんびりな日



☑ 私たちに欠かせないキュンの補給

『ハニーレモンソーダ』作・村田真優

——ふたりが会って世界がきらめく。
登場するキャラクターがとにかく愛おしくて
カッコよくて、一歩踏み出す勇気の連鎖に
入り込めちゃう?!きゅんと酸っぱいだけ
じゃないんです!



Cooking

☑ お家ではらはらの大冒険へ

『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』

作・斎藤惇夫 岩波少年文庫



FILE NO.1



2016年に竣工された比較的新しい建物であるYCUスクエア。5階建のこの建物には、なんと屋上があります!しかも日差しを避けることのできる屋根付き!!真夏日にここで過ごすことは難しいですが、外の気温がちょうどいい春や秋にはしばしば学生が訪れる穴場スポット。天気の良い日にはのんびりお昼寝しようかなと思っちゃいますが実はここ、目の前に踏切があり、常に踏切の音が聞こえてくるのです。普通であればうさくて10分も居られない…。ですが、踏切と共に過ごしている横浜市は違います。もはや踏切の音をBGMにしながら気持ちよく入眠してしまいます。どうしても気になるのであればここがノイズキャンセリング付きイヤホンを最大限に活用できる場面。それではおやすみなさい(U.U)…zzz



八景キャンパス時計台



FILE NO.2

ヨコイチのなぞは まだなぞなのだ。

あなたは知っているだろうか、身近に潜むヨコイチの謎。校内を走り回るリスやハクビシン、単位や合格にかかわるとされるヨコイチのシンボル時計台…などなどヨコイチに関するうわさは絶えません。そこで、今回はヨコイチのふか〜い謎を3つお届けします。信じるか信じないかはあなた次第です。



横浜市立大学の良さの1つとしてよく言われるのがその交通の便の良さ。最寄り駅かつ特急停車駅である金沢八景駅から徒歩5分という通いやすい立地である横浜市立大学ですが、そこには駅近ならではのデメリットも。

大学の正門前にある京急線の踏切、開きません。正確に言えばちょくちょく開くのですが、開いてから10秒以内にはもう次の電車の通過のために音が鳴って閉じてしまいます。踏切を渡って通学してくる学生も踏切があるが故に早めに家を出ないと遅刻してしまいます。ちなみに筆者は踏切前で最大20分待つて1時間目の授業に遅刻したことがあります。筆者の地元である秋田では電車はたいてい1、2時間に1本ほど。車両数も2~3両が普通なのでそもそも踏切で待たされるとということが珍しく、踏切に時間がとられるということはありませんでした。横市の入学式当日は混雑した踏切で寒空の下、40分近く待った経験は忘れられません。

FILE NO.3



本校舎の中庭にある池。緑色で濁っており、底が見えないため、水面に浮かんでいるアメンボを除けばどんな生物が生息しているのか、、、噂ではカメが住んでいるというのですがその姿を目撃した友達はおらず、伝説なのではないかと思っていました。しかし土曜日に学術情報センター(図書館)に行く途中に池を通ったら…いたのです!池の真ん中にある岩の上で目を閉じながら気持ちよさそうにひなたぼっこをしていました。休日の大学は部活動の人を除けば人が少なく静かなので、筆者は大好きなのです。カメさんも一緒なのかな?休日に1人で珍しいものが見られたと思って得した気分になりました。ちなみに以前大学のキャンパスツアーのサポートをしたときに高校生から『この池には柵が無いんですけど今までに落ちた人はいないのですか?』と聞かれ、返答に困ってしまいました。さすがにいない…よね…?

これから、大学で学ぼう



横浜市立大学では地域貢献の一環として、市民公開講座(エクステンション講座)を開設しています。(下記に一部の講座を紹介します)
教養を深めたい方、社会人としての知識、見識を高めたい方等、皆様のご参加をお待ちしております。

「まち保育」の視座からこどもとまちの未来を考える



主体的な遊びを通じた乳幼児期から学童期のこどもたちの学び・成長には園庭や校庭だけでなく地域の多彩な場が欠かせません。子どもの育ちまちとの関りへの革新的なアプローチを提唱する「まち保育」の理解とともに、園庭・校庭・都市公園、そして企業緑地帯等をフィールドにした実践例から、こどもとまちの未来について一緒に考えてます。

「金沢区の歴史は埋立の歴史」～横浜金沢・まちの変遷～

横浜金沢には、現在の東京湾に面した海岸線だけでなく「瀬戸の内海」と呼ばれた内海があり、海岸線や内海と陸地の織りなす美しい景色を求めて、多くの人たちが金沢を訪れていました。その後、徐々に土砂が堆積した内海は「泥亀新田」を代表として多くが埋め立てられました。近代以降は海岸線の埋立も進み産業団地や住宅地が整備されました。本講座では金沢区の歴史と街の変遷を埋立の視点から広く学び、それにまつわる場所を訪れます。



親子で楽しむ科学実験 ～市大生がプロデュース～



本講座は横浜市立大学の学生が中心となり、小学4～6年生を対象に、理科が苦手な子も、得意な子も楽しくなるような「サイエンスの楽しさや面白さを伝える」ことをモットーにした科学実験教室です。実験は机上の学習とは一味違ったひらめきや感動を与えてくれます。講座を通じて「なぜ?どうして?」という疑問を解消するサイエンスの醍醐味を体験できます。

エクステンション講座のお申込みはWEBサイトから! ⇒



横浜市立大学は2028年に創立100周年!

創立100周年に向けて、世界で活躍する優れた人材の育成や新たな研究創生、キャンパス環境整備、医学部・病院再整備を実現するため「YCU100募金」を設置しています。

皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



お申込み・お問い合わせ先
横浜市立大学基金事務局
(卒業生・基金担当)

TEL : 045-787-2447

Mail : kifu@yokohama-cu.ac.jp

編集後記

本誌は、有志の学生ライターにより取材・記事制作を行っています。
制作を担当した学生ライターを紹介します。

大学のことについて様々な視点から考えることができ楽しかったです。横浜市立大学のことを少しでも多くの方に知っていただければ嬉しいです。



菊地琴乃
国際商学部

協力して記事を書くことで、様々な方の文章に触れられて楽しかったです。ヨコイチ生の実生活をイメージしながら読んでいただけると嬉しいです！



千鹿野春音
国際教養学部

3度目の参加ということで時の流れを感じつつ、今年も変わらず「寄り添える」記事づくりを楽しく追求できたと思っています。横市生ならではの1日の過ごし方。昔の自分と比べたり、自分が大学生になったならを想像したり…紙面を通して体感してみてください！みなさまに驚きやなつかしさ、楽しさが届きますように*~



塚田碧美
国際教養学部

今回、休日の過ごし方を担当させていただきました。大学生と聞くと、「大学は人生の夏休み」という言葉があるように、時間が有り余っているイメージがありますよね。けれど、時間に余裕がありすぎると、な〜んにもしないまま一日が終わってしまうという状況に陥りがちであることを大学生活で痛感しました。同じように感じている学生さんや、お仕事をされている方も多いのではないのでしょうか？



長谷桜乃香
国際商学部

市大の地域貢献センターって？

地域貢献センターは、地域の団体・企業・行政等の皆さまからのご相談を、本学内の資源とマッチングする窓口です。

また、地域課題解決に向けた研究事業や、知の還元による市民の生涯学習支援(エクステンション講座の実施)学生のボランティア支援を主な役割とし、大学と地域との連携推進に取り組んでいます。

大学との連携をお考えの際は、まずは地域貢献センターまでご相談ください。

お問い合わせ先
横浜市立大学 地域貢献センター
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 金沢八景キャンパス
Mail : chiiki@yokohama-cu.ac.jp
WEBサイト : www.yokohama-cu.ac.jp/Contributions

※本誌についてのご意見ご感想をお寄せください



発行 横浜市立大学地域貢献センター
横浜市金沢区瀬戸 22-2
メール：chiiki@yokohama-cu.ac.jp

公式 X(旧 Twitter) では最新の講座情報もつぶやいています！

